※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	被服製作	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ほとんどが実習（製作）です。そのため、休まないできちんと授業に参加することが大事です。
・浴衣に関する基礎知識の学習をし、定期考査や小テストも行います。実技テストもする予定です。実習を通して伝統的な和服（浴衣）の縫製技術を身につけます。
・浴衣の着装技術を身につけます。
・積極的に取り組み、知識・技術の定着をめざしてください。

2　学習の到達目標

１．和服の基本的な構成と種類について理解するとともに、関連する縫製・着装技術を身につける。
２．和服の現状を知り日本文化に対する興味を深めるとともに、自分らしさを表現できる力を養う。
３．和服の文化に関心を持ち、主体的・意欲的に学んだことを活かそうと取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・衣服の起源と基本形および和服の歴史的背景、気候、風土、文化とのかかわりについて理解しているか。 ・平面構成の特徴を理解し、和服（浴衣）の部位の名称、構成について理解しているか。 ・伝統的な和服（浴衣）の製作実習を通して、和裁の技能を身につけられたか。 ・着装する技術を身につけることができたか。	・和服（浴衣）に関心を持ち、学ぶことで日本文化に対する興味を深めようとする。	・被服の製作に関心を持ち、意欲的･主体的な態度で学習活動に取り組むことができたか。 ・製作に前向きに取り組む態度がみられるか ・着装を主体的にしようとする態度があるか
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	浴衣の基礎知識	浴衣の歴史 浴衣の部分名称 ミシンの扱い方 裁縫用具について 和服の基本知識 平面構成と立体構成	a: 和服製作に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得している。日常着と礼服について認識を深めている。 b: 製作を計画的に実行することができる。 c: 伝統的な和服（浴衣）に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 提出作品	定期考査 提出作品	作品の進度 振り返り
前期 後期	浴衣の製作	裁断 ミシン縫いの練習 ミシン縫い くけの練習 手縫い	a: 被服製作に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得している。 b: 製作を計画的に実行することができる。 c: 計画に従って能率的に製作する能力と実践的な態度を身につけている。	提出作品 実技テスト	提出作品 振り返り	
後期	着装	浴衣のたたみ方 浴衣の着装	a:着装に必要な基礎的な知識と技術を習得している b:自分の個性に応じた着装ができる c:積極的に実習に取り組む姿勢を身につけている	提出作品 実技テスト	提出作品	

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度